設計金額500万円未満の工事の総括報告表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工事着手前 | 設計図書の照査結果 | 項目 | 具体的内容（事実が無い場合は無しと記入） |
| 設計書、図面等に不一致がある |  |
| 設計書、図面等に間違いがある |  |
| 設計書、図面等に不明確な箇所がある |  |
| 設計書、図面等で示された自然条件や施工条件と現場が合っていない |  |
| 設計書、図面等で示されていない施工条件がある |  |
| 段階確認の予定 | 段階確認の内容 | 予定時期 |
|  | 　　　年　　月 |
|  | 　　　年　　月 |
|  | 　　　年　　月 |
| 安全に関する計画 | 月4時間以上の安全教育の内容 |
| 　　年　　月 |
| 　　年　　月 |
| 　　年　　月 |
| 作業主任者（該当作業がある場合） |
| 該当作業 | 会社名 | 氏名 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 測量結果 | 項目 | 内容 |
| 測量標（仮ＢＭ）、工事用多角点の設置 |  |
| 用地境界の確認 |  |
| 中心線の確認 |  |
| 縦断・横断の確認 |  |
| 工事完了時 | 建設業退職金共済証紙の購入状況（受払簿） | 会社名 | 配布枚数 |
|  | 　　　　　枚 |
|  | 　　　　　枚 |
|  | 　　　　　枚 |
| 計 | 　　　　　枚 |

* 工事着手前、工事完了後にそれぞれ該当部分を記載し、工事打合簿により監督員に提出する。
* 必要に応じて資料を添付する。
* 上記内容の変更があった場合には、工事打合簿で処理し、総括報告表は提出不要とする。